

平成22年度 事業計画

1. 基本方針

平成22年12月の東北新幹線全線開業等による観光環境の体系整備に即応し、黒石市及びその周辺地域と連携をとりながら観光・物産の紹介宣伝、観光施設の整備並びに郷土文化の向上を図り、地域経済及び文化の振興に寄与するために、事業を推進します。

2. 実施事業

(1) 第25回黒石桜まつり (2010.4.24~5.5)

東公園は、近年都市公園として整備され桜の名所となっております。桜まつりを開催し、春の季節観光のさきがけとするものであります。期間中は、イベント盛り沢山で、連休になると家族連れや花見客で賑わいます。また、夜はライトアップもされており、幻想的な世界が広がります。

(2) 第16回東公園桜植樹 (2010.4.24)

東公園を見応えのある公園にするため、一般の方々より協賛を募り、染井吉野5本を植樹いたしました。

今まで植樹した桜 (45種類 合計167本)

十月桜・南殿・紅枝垂・関山・糸括・御衣黄・楊貴妃・有明・東錦・万里香・菊枝垂
紫桜・天の川・福祿寿・松月・佐野桜・紅豊・大村桜・染井吉野・紅八重枝垂桜
仙台枝垂桜・オカメ桜・三波川桜・大阪桜・紅山桜・大山桜・思川桜・江戸彼岸桜
彼岸桜・寒緋桜・小彼岸・白妙・鬱金・河津桜・紅華・佐野菊桜・神代曙・修善寺寒桜
うわみず桜・陽光・江戸彼岸八重桜・泰山府君・衣通姫・苔清水・緑近畿豆桜

(3) りんごともみじ狩り

りんごの主産地として、りんご産業の振興と宣伝をはかり消費拡大を目指します。9月上旬から11月上旬には黒石観光りんご園を開園し、りんご狩りを開催します。
また、同時に中野もみじ狩り(10月上旬~11月上旬)を開催します。

(4) 黒石よされ後継者育成 (平成8年より実施)

黒石の郷土の伝統文化を継続し、永く保存育成を目的とするものであり、年間を通して三味線、唄・太鼓、踊り、つつみの講習を毎週一回開催します。また7月・8月には、一般及び保育園・幼稚園・小中学校の先生方を対象に黒石よされ・黒石甚句・黒石じょんから・津軽甚句・ニューバージョンの講習会を開催します。

(5) 第27回津軽民謡短期大学 (2010.10.8~10.11)

黒石市はじょんから節発祥の地として古くから民謡、手踊りの盛んな町です。
津軽民謡短期大学手踊り教室は、広く全国の民謡を愛する人々を対象に津軽民謡五大節の手踊りを習得してもらうため開催(10月体育の日を含む金・土・日・月)します。
本年の課題は「津軽よされ節」、今までの参加者は702名となりました。

(6) 第5回黒石じょんから宵酔酒まつり

黒石地区の飲食店街の活性化を図るべく消費者向けのPR事業。よされ横丁界隈にある飲食店を5店舗巡り、スタンプを集めゴールすると抽選で豪華景品が当たる。参加者、約800名。

(7) ホームページの充実化

情報社会の現在に対応する為HPを充実させ、広く情報発信をする。
平成16年度より、宿の空室状況を掲載した“宿ネット”を開設。
平成20年度より、会員を紹介する“会員紹介ページ”を開設。
平成21年度、HPリニューアル、ブログ「よされ春秋」を開設。

ホームページアドレス <http://kuroishi.or.jp>
i-modeアドレス <http://kuroishi.or.jp/i-mode.htm>

(8) 青森県りんご試験場りんご史料館の情報発信に協力。

(9) 近隣市町村との観光についての連帯と協力。

(10) 祭り連携の為の提言協力。

- ① 黒石よされ実行委員会
- ② 黒石ねぶたまつり
- ③ 黒石こみせまつり実行委員会
- ④ 黒石りんごまつり実行委員会
- ⑤ 日本一の雪だるま実行委員会
- ⑥ カタクリの小径の会
- ⑦ 黒石クリエート21実行委員会
- ⑧ 丑湯まつり
- ⑨ こけし駅伝大会実行委員会
- ⑩ 姉妹都市宮古市交流事業協力

(11) 中野もみじ山施設整備に提言協力。

(12) 会員増強の実施。

(13) 黒石よされイベント（まつり）派遣。

(14) こみせ観光ボランティアガイドの会事務局。

(15) 新公益法人への移行準備。

(16) 軽トラ市の開催。

(17) コンベンションの委託事業。

(18) レンタサイクルの実施。

(19) 観光土産品・グッズ等の製作・販売。